平成27年度　目標管理シート （課別組織目標）

課かい名	市立病院　看護部	課かい長名	中村　恵子

組織目標	急性期を過ぎた患者様への後方支援機能を持った病院として、安心して医療を受けていただけるよう日々研鑽をしながら全力で取り組みます。「患者様中心の思いやりのある看護を実践する」を理念として、患者様が住み慣れた地域で穏やかな暮らしをしていただけるよう、患者様に寄り添った看護の提供に努めます。 ・ 患者様の意思を尊重し、安全で安心な看護を提供します。 ・ 看護の専門性を発揮し、チーム医療に参画します。 ・ 組織の一員として病院経営に参画します。 ・ 地域との連携した看護を推進します。 ・ 専門職として自己研鑽に努めます。

課重点事業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	中間レビュー （10月1日時点） ・上半期（４月～９月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（１０月～３月）に向けた課題等	中間進捗度	目標の達成状況（3月末時点見込） ・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果（達成できなかった事由、理由等）	達成度	次年度に向けて（引継ぎ事項） ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
市立病院看護部①	**患者サービスの向上** 市立病院④	①具体的目標	①接遇に心がけ優しさと思いやりのある看護を提供するために接遇に関する研修行う。 ②安全安心な看護の提供を行うために標準化した看護実践を行い、業務改善に努め、常に危険を察知でき、回避できるよう職員のスキルアップを図る。	①接遇マナーの向上として、院内研修計画に沿った研修会を実施する。また院外で実施される研修へ積極的な参加を行う。 ②標準化した看護実践を行うために、現在ある看護基準、手順、マニュアルの見直しを行い、整備する。 ・専門的知識や技術の向上を図るために研修会に参加する。 ・院内研修計画に沿ってリスクマネジメント研修を実施する。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	①院外研修等への参加については、勤務シフトが調整必要となる。							②課題・特記事項等	
市立病院看護部②	**看護職員個々のキャリアアップを図る** 市立病院④	①具体的目標	学習する組織づくりを行い看護職員個々のキャリアアップを図る。 ・院内研修会への参加率８０％を目指す。 ・院外研修会に各々最低年に２回の参加を推進する。 ・院内看護研究発表会を年に１回開催する。	・院内研修会へ積極的に参加するように指導する。（各師長、教育委員の声かけを行う） ・院外研修会情報の提供を行う。 看護協会主催の研修会や外部施設、各団体等の研修会に参加し自己啓発しやすい環境を整える。 ・各種資格取得の推進する。 資格取得へ向け積極的に参加し、自己啓発しやすい環境を整える ・院外研究発表会への参加を行う。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	各種資格取得にあたっては、費用面、勤務シフト、人員等で調整が必要となる。							②課題・特記事項等	

重点事業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等				変更内容	中間レビュー （10月1日時点）		目標の達成状況（3月末時点見込）		次年度に向けて（引継ぎ事項）	
	課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等		・上半期（４月～９月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（１０月～３月）に向けた課題等	中間進捗度	・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果（達成できなかった事由、理由等）	達成度	①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
市立病院看護部③	**医療機関・介護施設との連携強化** 市立病院②	①具体的目標	高齢で寝たきりの入院患者が大多数のため、退院先としての施設入所を希望する患者や家族が多いことから、既存施設の担当者との関係強化と新規施設とのパイプ作りによる在院日数の短縮を図る。	・医療機関や介護福祉施設等の担当者との定期的な情報交換や、新規開設施設の内覧会参加などの訪問活動を積極的に行う。 ・関係機関が行う他職種連携を目的とした研修会等への積極的参加による新規施設の開拓を行う。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	患者からの相談が多いことから、社会福祉士等の有資格者の人員配備が必要である。							②課題・特記事項等	